

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL:<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

後援会会長・学部長等挨拶	1~2	就職活動と支援・就職状況	8~9
卒業式	2~3	進学先・就職先一覧	10~11
入学式	4	資格取得等報奨制度	12
次 入学状況	5	令和2年度決算・後援会総会	13
大学紹介	6~7	令和3予算年度・役員名簿	14
学生活動だより	8	令和3年度学年暦・行事	15~16

会長挨拶

後援会会長 戸田 茂



戸田後援会会長
多くのご家族はもどかしい不安をお持ちでしよう。学生諸君にすれれば「抱いていた学生生活の喪失から、将来への不安が重なつていい立位置は果たして正しいのか」、立

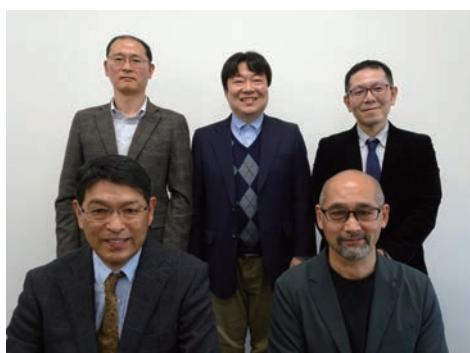
「自分は何を失っているのか」等々の思いで孤立感が深まりやすい渦中にあります。しかし大丈夫です。教員皆さんの相談体制は整っています。学生諸君もご家族も積極的に交流をしてください。学生は自らコントロールできる多くの時間で、専門性の深堀ができるます。オンライン授業の良さを認識して修学に打ち込みます。課外活動で知り得た友人と情報交換を重ねることができます。ご家族は学生の自立の歩みを看守つてください。

昨年の2月ごろから始まつた新型コロナ感染症への対応は、3度目の緊急事態宣言の発令などを経て、2年目に突入しています。幸いにも今春は卒業式・入学式を執り行うことでき、対面授業も昨年より増やすことができました。私事ですが、私は

経済学部長挨拶 中野桂

経済学部副学部長挨拶 総務・企画担当 金秉基

現在、大学の教育研究はデジタルによる大転換を迎えています。社会が求める教育研究の変化に応じて、



後列 金 坂田 宗野 各副学部長
前列 増山副研究科長 中野学部長

データサイエンス学部長挨拶 竹村彰通

データサイエンス学部設立から4年が過ぎ、この3月に1期生が卒業しました。就職及び進学の実績においても大きな成果が得られ、社会からのデータサイエンス学部に対する評価も確立していくと思います。また、学部1期生のうち2割がデータサイエンス研究科博士前期課程（修士課程）に進学し、さらに専門性を高めています。コロナ禍の中でもデータサイエンスに対する社会からの需要はあいかわらず強く、データサイエンス学部ではスタッフを強化し企業連携を拡大しています。これにより日本におけるトップランナーとしての位置を保ちたいと思つてい

学位授与の方針や教育課程編成など、学部の改組・整備を推進していくきます。カリキュラムにおいては、専門教育の基礎となる教養教育と、経済経営社会関連分野の数理・データサイエンス教育の充実化、グローバル人材育成に向けた学部改組を目指します。

学務・学生生活担当 坂田雅夫

今年度、学務・学生生活を担当いたします。コロナ禍の大学生活も二年目となりました。今学期の授業は原則対面を掲げ始めました。早く速、コロナ第四波といわれ情勢は厳しくなっていますが、対面とオンラインを組み合わせて行われるハイブリッド授業導入などを通じて、コロナ禍においても学びを止めず、なおかつ学生生活の楽しさを維持できるように努めて参ります。

入試・広報担当 宗野 隆俊

本学部は、全国から多数の志願者を集めましたが、受験人口の減少や新型コロナ禍での地元志向の強まりなど、入試をめぐる環境は厳しさを増しています。不安な要素は多々ありますが、このような時こそ基本を大切にしたいと考えています。まずは、日々の入試業務に真摯に取り組み、社会の信頼に応える。これが、私たちに求められていることであると思います。

大学院経済学研究科 副研究科長挨拶 増山 裕一

本年度、副研究科長を担当いたしました。経済学研究科におきましては、滋賀大学の伝統や強みを生かし、文理融合の観点から、自らデータを分析した結果をもとに戦略的な意思決定できる人材育成を目指して、1年間で大学院前期課程を修了できるビジネス・データサイエンス専修プログラムが始まります。皆様のご支援を賜りますようお願い申上げます。

副学部長挨拶 データサイエンス学部

総務・企画担当 佐藤 正昭

この四月から総務・企画担当を拝命しました。ハイ・フレックステachingに対応した教室も整備され、学びの環境もますます充実してきていま



後列 佐藤 市川 各副学部長
前列 清水副研究科長 竹村学部長 椎名副学部長

す。教育の質保証の面にも注力しながら、データサイエンス教育の先導役、拠点として、滋賀大学の務めを果たしてまいります。これからもご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

学務・学生生活担当 市川 治

今年度より学部学生の学務と学生生活を担当いたします。データサイエンス学部では、2021年3月に学部1期生と修士1期生が卒業し、社会へ、そして進学先へ羽ばたいていきました。卒論発表会・修論発表会では、大変優秀な内容で発表が行われたことを申し添えておきます。このモーメンタムを継続すべく、引き続き本学学生へのご支援をいただければ幸いです。

大学院データサイエンス研究科 副研究科長挨拶 清水 昌平

昨年度、日本初の修士（データサイエンス）をもつ修了生を送り出しました。博士後期課程についても、2年後には日本初の博士（データサイエンス）をもつ修了生が生まれる見込みです。育成人材像である「データサイエンスに関する新たな基盤技術を生み出し、新たな価値創造の「場」の開拓につなげができる」人材として育つてもらえばと思います。

入試・広報担当 植名洋

昨年度に続き、入試・広報担当の副学部長を拝命いたしました。データサイエンス学部の社会での知名度は着実に広まっていますが、高校生の間ではまだまだこれからという感じもしています。「情報I」の必修化もあり、高校生の間でデータサイエンスがより身近になっていくことが予想されますが、それに対応して入試も変わらなければならぬと感じています。



会場の様子(滋賀大学講堂)

3月26日（金）滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修了証書授与式を挙行しました。式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3会場（教育学部・大学院教育研究科・特別支援教育専攻科）はびわ湖ホール、経済学部・大学院経済学研究科はひこね市文化プラザ、データサイエンス学部・大学院データサイエンス研究科は本学講堂）に分かれて挙行され、式典への参加は卒業生及び修了生のみとし、保護者の方等へはライブ配信を行いました。方等へはライブ配信を行いました。

令和2年度卒業式



位田学長からの式辞

それぞれの会場で位田学長から学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞で卒業生へはなむけの言葉が贈られたのに続いて、在校生代表からお祝いと感謝の言葉、また、卒業生代表から今後の決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。データサイエンス学部の卒業式が挙行された講堂では、一般社団法人データサイエンティスト協会代理理事の草野隆史様よりビデオにてはなむけのお言葉を頂いたほか、最後に竹村彰通学部長自ら、ピアノの生演奏（曲目：幻想即興曲（ショパン））で卒業生を送り出しました。

23名のほか、教育学部239名、経済学部501名、大学院教育学研究科修士課程35名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）16名、大学院経済学研究科博士前期課程18名、特別支援教育専攻科8名の合計934名が本学を巣立ちました。



竹村学部長によるピアノ演奏

卒業証書等授与代表者

教育学部

学校教育教員養成課程 松村 温子
経済学部

ファイナンス学科 鶴田 瞳

経済学部

学校教育教員養成課程 高木 誠
会計情報学科 清澤 英正

データサイエンス学科 芝 賢侃

大学院経済学研究科

専門職学位課程 高度教職実践専攻
博士前期課程 経済学専攻
青木 吉史
松田 愛

大学院教育学研究科

修士課程 学校教育専攻 世古 直輝
データサイエンス学科 芝 賢侃

学業成績優秀者学長賞表彰者

教育学部

特別支援教育専攻科 障害児教育専攻
伊吹 晶子
杉山 聖貴

経済学部

博士前期課程 データサイエンス研究科 専攻
門出を祝つて、卒業祝賀会を開催いたしました。例年、陵水会様からは卒業という同窓会「一般社団法人 陵水会」様より、卒業する学生に向けてビデオメッセージを制作いただきました。

今年度も新型コロナの影響で開催することが出来なかつたため、メッセージビデオの形ではなむけをいたしました。大学HPにて公開しておりますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



また、大学HPに卒業生・修了生の皆様への学長メッセージが掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



令和3年度 入学式

4月5日（月）大津市の「びわ湖ホール」において、令和3年度滋賀大学入学式を挙行しました。今年度は、教育学部243名、経済学部484名、データサイエンス学部100名、大学院教育学研究科専門職学位課程20名、大学院経済学研究科博士前期課程22名、大学院経済学研究科博士後期課程3名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程43名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程3名、特別支援教育専攻科9名の総計927名が、学生生活の新しいスタートを切りました。なお、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学部（3学部を2グループ）と大学院に分散して開催するとともに、式典の参加は新入生のみとし、保護者の方等へはライブ配信を行いました。

式典は、まず教育学部・データサイエンス学部の入学式を行いました。入学生を代表して教育学部の守崎大也さんが宣誓を行いました。続いて位田学長から「学生生活を通じて、Shiga University Spiritを養いきらきら光り輝く」とを期待します」と式辞がありました。

その後、大学院と特別支援教育専攻科の入学式を行いました。入学生

を代表して大学院経済学研究科の李静さんが宣誓を行い、「学則を守り学生の本分を尽くすこと」を誓いました。続いて位田学長から「皆さんが、研究を通じて、琵琶湖に映える陽の光のように、きらきらと光り輝くことを期待しています」と激励の式辞がありました。

最後に、経済学部の入学式を行いました。入学生を代表して経済学部の鈴木滉平さんが宣誓を行い、位田学長から式辞がありました。

在学生からは歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。入学生は、これから始まる大学生活への期待に胸を膨らませていました。

なお、大学HPに新入生の皆様への学長メッセージ（式辞）が掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



位田学長からの式辞

令和3年4月6日（火）彦根キャンパスの滋賀大学講堂において、新2回生となつた経済学部生・データサイエンス学部生・大学院経済学研究科生・大学院データサイエンス研究科生を対象に、令和2年度入学生の集い（1年後の入学式）を挙行しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として3部制で行われた式典には総勢約230名が参加され、連携企業様等から寄贈された花々に囲まれた華やかな雰囲気の中、位田学長の挨拶に始まり、中野経済学部長及び竹村データサイエンス学部長の挨拶、続いてオーケストラ部による演奏とチアダンス部によるパ



経済学部・研究科



DS学部・研究科

皆様におかれましては、学長、学部長からの激励の言葉を胸に刻んでいただき、これから的学生生活を通じて大きく成長されますことを期待しております。

また、大学HPに令和2年度入学の皆様への学長メッセージが掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。

また、式典及び学生交流会の終了後、学生の皆さんには、講堂内や入学式の案内立て看板を背景に記念撮影を楽しんでおられました。

様々な制約の中で学生生活を送らざるを得なかつた昨年度の入学生の皆さんに、改めて本学に入学されたことの祝意をお伝えするとともに、新たな気持ちで新学期をスタートしていくだくための一つの区切りになつたことと 思います。

式典後は少人数グループに分かれ
て学生交流会を実施し、初めて顔を避
合わせる同級生もいる中で、密を避
かれました。



大学院・
特別支援教育専攻科



経済学部



教育学部·DS学部



学生交流会の様子



オーケストラ部の演奏



チアダンス部のパフォーマンス

令和3年度 入学状況

入学試験状況

学 部 名		定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学部	中間主コース	410	2,548	1,428	483	411
	夜間主コース	50	86	83	50	44
	3年次編入	20	105	105	33	25
データサイエンス学部		100	408	299	109	100

【大学院】

研 究 科 名		定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学研究科	博士前期課程	32	51	47	28	21
	博士後期課程	3	3	3	3	3
データサイエンス研究科	博士前期課程	40	53	53	45	43
	博士後期課程	3	3	3	3	3

滋賀大学入学者一覧

経済学部	480 (*)
データサイエンス学部	100
教育学部	243
経済学研究科	21
博士前期課程	3
博士後期課程	3
データサイエンス研究科	43
博士前期課程	3
博士後期課程	20
教育学研究科	9
教職大学院	922 (*)
特別支援教育専攻	20
合計	922 (*)

* マレーシア政府派遣留学生4名は外数

都道府県別入学者数

【経済学部(3年次編入は除く)】

北海道	4	0.9%	福井県	18	4.0%	和歌山県	1	0.2%	熊本県	2	0.4%
山形県	1	0.2%	長野県	2	0.4%	鳥取県	1	0.2%	大分県	1	0.2%
福島県	1	0.2%	岐阜県	34	7.5%	島根県	1	0.2%	宮崎県	2	0.4%
茨城県	1	0.2%	静岡県	12	2.6%	岡山県	9	2.0%	鹿児島県	1	0.2%
栃木県	1	0.2%	愛知県	74	16.3%	広島県	2	0.4%	沖縄県	3	0.7%
埼玉県	2	0.4%	三重県	15	3.3%	徳島県	1	0.2%	留学生	11	2.4%
東京都	1	0.2%	滋賀県	57	12.6%	香川県	4	0.9%	その他	1	0.2%
神奈川県	2	0.4%	京都府	49	10.8%	愛媛県	1	0.2%			
新潟県	1	0.2%	大阪府	52	11.5%	高知県	3	0.7%			
富山県	11	2.4%	兵庫県	47	10.4%	福岡県	3	0.7%			
石川県	9	2.0%	奈良県	11	2.4%	長崎県	3	0.7%	合計	455	100.0%

【データサイエンス学部】

茨城県	1	1.0%	静岡県	3	3.0%	和歌山県	1	1.0%	鹿児島県	2	2.0%
群馬県	2	2.0%	愛知県	11	11.0%	島根県	2	2.0%	沖縄県	2	2.0%
東京都	1	1.0%	三重県	1	1.0%	岡山県	1	1.0%			
新潟県	2	2.0%	滋賀県	19	19.0%	広島県	2	2.0%			
富山県	1	1.0%	京都府	17	17.0%	徳島県	1	1.0%			
福井県	1	1.0%	大阪府	10	10.0%	愛媛県	1	1.0%			
長野県	1	1.0%	兵庫県	1	1.0%	福岡県	2	2.0%			
岐阜県	10	10.0%	奈良県	4	4.0%	長崎県	1	1.0%	合計	100	100.0%

大 学 紹 介

経済学部の現況

経済学部長 中野桂

△入学者選抜の状況△

今年度の入学者数は昼間主が41名（定員50名）、夜間主が41名（定員410名）、夜間主が44名（定員50名）となりました。また3年次編入は25名（定員20名）でした。

今年度から前期日程の入学定員を150名から172名に変更し、後期日程の入学定員を200名から150名に変更しました。この前期日程と後期日程を合わせた一般選抜の定員322名に対して、志願者数は2376名で、受験者数は1259名、合格者数は397名でした。受験者数に対する合格者数でみた倍率は前期日程の国外型で3.3倍、数外型で2.0倍、後期日程の国外型で3.7倍、数外型で3.9倍となりました。今年度から導入した総合型選抜は十分な認知が得られなかつたのか、志願者が低迷をしました。

昼間主における志願者の内訳を見ると、志願者数の多いのは上から、愛知県15.9%、京都府13.1%、兵庫県9.6%、岐阜県

5.7%で、これらの府県で全体の7割近くを占めます。入学者数については、愛知県18.5%、滋賀県13.3%、京都府11.8%、兵庫県10.5%、大阪府10.5%、岐阜県7.3%で7割以上を占めます。近畿地区と中部地区という分け方で見ると、近畿が47.5%、中部が32.8%となり、彦根の地理的条件をよく表す結果となっています。

△新型コロナ感染症への対応△

大学全体の方針としては対面授業を原則とするという形で、春学期はスタートしています。教室については、入試時と同じように一列ごとの配置とし、学生がどこに座ったかを全ての対面授業で把握するなどして、万が一感染者が発生したとしても適切に対応できるようにしています。原則は対面授業ですが、新型コロナの感染状況に応じて、ハイブリッド型授業（対面授業をライブ配信）やオンライン授業なども利用するなど、学生の皆さんのがんと安全を考えつつ、学修機会の保障に努めています。

経済学部では今年度の入学者に対しては、ノートパソコンの携帯を強く推奨いたしました。新型コロナによる影響が既に2年目とすることもあり、新入生に対するアンケートでは96.3%の学生がノートパソコンを所持していると回答しています。自宅（下宿等を含む）ネット環境に

ついで、やはり96%の学生が授業を受ける環境があると回答しています。滋賀大学では学内のWi-Fi環境も昨年度来強化をしておりますし、必要な学生にはパソコンの貸し出しなどを行い、引き続き、全ての学生の学修機会が十分に確保されるよう取り組みたいと思います。

△課外活動の状況△

新型コロナ禍ではありますが、昨年度においても部活等に参加する学生の数は例年並みでした。今年度については、現時点ではまだ把握をできていませんが、全面オンライン化された昨年度春に比べて、対面授業も増え、キャンパスにおける学生の往来もありますので、おそらくは例年並みになることが期待されます。

経済学部（大学院を含む）では、今後も学生の皆様が豊かな人生を歩んでいかれるような教育プログラムを提供していきたいと考えています。また、それに先立ち、大学院では社会人向けの1年制コースとして「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」を来年度からスタートさせることを予定です。

策定にあたっています。その中で、経済学部は学部改組を行い、広くさまざまな分野を学んだのちに個々の専攻分野を選択するレイツスペシャライゼーションの導入を検討しています。

△経済学部の将来構想について△

部活加入率については大きな変化はなくとも、活動そのものは残念ながら制約を受けています。特に、3回目の緊急事態宣言が出される状況の中では、現在はオンラインによるミーティングや特別に許可された活動を除いて、原則禁止となっています。6月に予定されていた和歌山学との定期対抗戦（滋和戦）についても中止の方向です。

△経済学部の将来構想について△



キャンパス内に設置された自主学習スペース

Wi-Fi環境も充実し、オンライン授業もここから参加できます

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長
竹村彰通

わが国初のデータサイエンス学部が滋賀大学に誕生してから4年が経過し、この3月には1期生が卒業しました。就職実績においても卒業研究においても、本学部の教育方針を反映した成果が得られたものと考えています。また企業等との連携も進めており本学部はさらなる前進を続けています。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴つて企業の採用活動の遅延や、内定数の減少などがあり、1期生の就職活動に少なからず影響がありました。データサイエンス学部1期生の注目度は高く、概ね就職活動は良好に進みました。特に積極的にインターンシップに参加していた学生については、インターンシップ先の企業に好印象を持っていたとき就職活動のエンタリーや勧められたケースもあり、実際にそれらの企業に就職した学生も多くいます。また、独自で起業し、データサイエンス業務を行つている学生もあり、各種メディアにも取り上げられました。本学部の注目度は年々高まっており、2期生に対しては1期生の時にはほとんど見られなかった各企業からの学校推薦の依頼が急増しており、現在50社近くあります。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴つて企業の採用活動の遅延や、内定数の減少などがあり、1期生の就職活動に少なからず影響がありました。就職実績においても卒業研究においても、本学部の教育方針を反映した成果が得られたものと考えています。また企業等との連携も進めており本学部はさらなる前進を続けています。

次にゼミ活動について近況を報告いたします。学部生は2年間、修士生は1年半の期間のゼミ配属があり、それぞれのテーマで研究を進めています。その集大成として卒業研究・修士論文発表会が2021年2月に行われました。どちらも1期生であり、私たち教員にとつても4年間あるいは2年間の教育の成果を問われる重要なイベントでした。結果として内容はとても満足のいくものでした。特に、企業の実データを使って分析を進め、その企業に施策を提案し、さらに実施に結び付けたという発表が複数ありました。また、研究型の発表にも優秀なものが多々あり、複雑な数学を駆使した研究、高度なITや深層学習を応用した研究が目を引きました。分野的に岐にわたつており、データサイエンスがインダストリーの横串であると

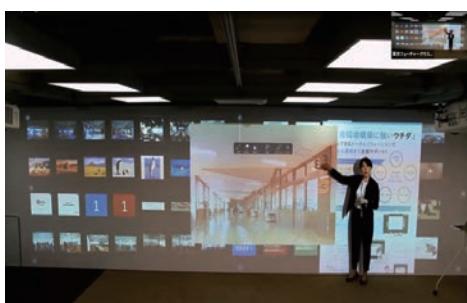


在学中に大学発ベンチャーの認定を受け
「合同会社mitei(ミティ)」を設立した
井本望夢さん(中央)

いうことが再確認されました。

また、学部設立から4年が経過し、その間に社会はAIにより傾斜を深めています。そのため、AI時代への対応を深化させるために新カリキュラムに移行し、今年度入学の学生から適用になります。

さらに、大学院進学に関するこの4月には定員を20名から40名に一気に倍増するという大きな変化がありました。多くの他大学の大学院では定員が埋まらない現況を鑑みると若干不安な点もありましたが、結果的に43名が入学しました。特にデータサイエンス学部1期生の内部進学者が20名あり、この学生たちは学部の教育を4年間受けた後で再度滋賀大学を選んでくれた「リピーター」であり、学部の教育に対して一定の評価をしてくれたわけで、我々にとっては嬉しいことになりました。



大学院拡充に伴い演習室を整備

最後に、学生諸君の学外との関りについて紹介します。1年次の必修科目「データサイエンス入門演習」において、滋賀県大津市の行政の課題解決にデータ分析がどう役立てられるかを履修生が提言しました。統計数理研究所と共催した「大学生のための医療統計学」のプログラムには和泉志津恵研究室のゼミ生が参加しました。また清水昌平教授、浅原里基に移行し、今年度入学の学生から適用になります。

さらに、大学院進学に関するこの4月には定員を20名から40名に一気に倍増するという大きな変化がありました。多くの他大学の大学院では定員が埋まらない現況を鑑みると若干不安な点もありましたが、結果的に43名が入学しました。特にデータサイエンス学部1期生の内部進学者が20名あり、この学生たちは学部の教育を4年間受けた後で再度滋賀大学を選んでくれた「リピーター」であり、学部の教育に対して一定の評価をしてくれたわけで、我々にとっては嬉しいことになりました。

学外のコンペティションでも多くの学生が活躍しました。日本経済新聞社主催のData Society Fes2020の学生Lightning Talk大会で、本学部4年生が準優勝しました。NEC主催の分析コンペティション「NEC Analytics Challenge Cup 2020」にて、全国から99チームが参加する中、本学部から参加したチームは、予測精度コンテスト・オフィス街部門で最優秀賞を獲得し、他に2チームが優秀賞を獲得しました。またアイデアコンテスト部門においても2チームが優秀賞を獲得しました。

以上、データサイエンス学部の最近の発展について紹介しましたが、我々スタッフも全力で本学部のさらなる発展に努めてまいりますので、今後とも、後援会の皆様方の変わらぬご支援、鞭撻をお願い申し上げます。

滋賀大学学長賞について

令和3年3月19日、彦根キャンパス学長室において、令和2年度滋賀大学学長賞授与式を行いました。

授与式では、学生支援課より選考結果の概要について説明があり、位田学長からデータサイエンス学部の小林弥奈さん、近藤大貴さん、ソフトテニス部、バレー部に表彰状と楯、副賞が授与されました。なお、バレー部、ソフトテニス部については、令和元年度第4回学長賞で選考されましたが、新型コロナウイルス感染症により今回の授与となりました。いずれの授与も滋賀大学の名誉を大いに高めた功績によるものです。

山下悠ゼミナールYOSについて
は、当日、都合により欠席されました
たので、後日表彰される予定です。

今回受賞された団体等と受賞理由について
は、以下のとおりです。（彦根キャンパスの学生関係のみ）

この未曾有のパンデミックウイルスによる非日常が一年以上続いている中での就職活動は学生にとつても我々にとつても、また採用する側にとっても初めての体験となりました。本年3月の卒業生は突然の出来事で、劇的に変わった環境への対応に多くの時間と手間を要しました。

就職支援について



学長と受賞されたDS学部生

就職支援について

教育・学生支援機構 特命教授
入江直樹

就職活動と支援

就職支援体制

各種セミナー

各種セミナーの実施

今就職活動を行つてゐる学生は一年前に新たな環境での対応を迫られ、今はそれへの順応を求められております。これまでの常識が非常識に、当たり前のことが手の届かないことになる、だれもがそのような経験をしているのではと思ひます。このような環境では実質的な支援に加えて精神的な拠り所となりサポートしていく必要があると考えます。様々な手段を用いてできるだけ多くの学生とつながること、それを大きな使命として新たな時代を迎え撃ち、高い成果を挙げるよう努めて参ります。後援会の皆様におかれましてはこれまで同様ご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

インターネット・シッピング・プログラムの開催

ここ数年企業が実施するインターンシップは1日～3日と短期間で実施されております。これはインターナショナルの目的である就業体験を求めるタイプではなく、企業紹介を目的としたもので、今後展開される採用活動のためのものであることは明らかです。しかし、コロナ禍の影響のため民間企業を中心にインターネット上に参加者に有利な配慮が見られる傾向が出てきたため、学生には希望する業界、企業が開催するインターンシップに参加することを促しております。また本来のインターネット上での開催期間が5日以上の就業体験を主な目的とするものは、経済学部生向けには単位付与のあるものを、データサイエンス学部生向けには実際の企業業務を通した実務経験を積むことができるインターナショナルをそれぞれ大学経由で提供しております。学生が自らの目的に合うインターナショナルを選択できるよう環境を整えております。

個別面談の実施

経済学部、データサイエンス学部、共に卒業後は様々な業界に進むことになりますが、進路に関しては学生一人一人で思い考へることは異なります。それゆえ悩み苦しむことも生きていくための通り道であります。そんな場面において一人一人に寄り添い明かりを照らすことができるのが個人面談です。個人面談は対面方式とZoomによるweb方式とを取り入れ、すべての学生に対応できる体制を用意しています。急を要する学生には夜間や休日にも対応しております。また面談の内容によつては保健管理センターの医師、臨床心理士、保健師と連携しながら就職活動だけでなく講義や日常生活に関する課題や問題点にも対応しております。

合同企業説明会・業界セミナーの開催



企業に対し、実りあるインターンシッププログラムとするためのノウハウを説明する入江教授

このように様々な形態で学生に情報提供し、一人一人に寄り添う支援を行つてまいります。

代表する企業によるその業界全体の強みや面白さを説明していたさまざま。就職協定上の会社説明会開催日以降は学内において200社程度の企業にお集まりいただき、学生が直接人事担当者から話を聞くことがであります。就職協定上の会社説明会開催日以降は学内において200社程度の企業にお集まりいただき、学生が直接人事担当者から話を聞くことができます。企業が直に個人面談を聞くことができるイベントを開催いたします。金融業、製造業、通信インフラ業、情報関連業、商社、小売業、サービス業などこれまで多くの卒業生を採用いただいている企業がここ彦根に集結して学生に情報を提供します。この説明会は経済学部、データサイエンス学部それぞれ分かれて開催します。

これまでにない状況下での就職活動は学生にとって戸惑いの連続であつたと思います。その中で学生は自らの進路をしつかりと定め、それに向かって努力しておりました。データサイエンス学部生は最初の卒業生といふこともあり外部からも注目され、他の学生以上の緊張感があつたと思われます。

データサイエンス学部はデータサイエンティストを輩出することを使命とする学部で、そのための厳しい専門教育プログラムの下、学生は統計検定2級合格など高い目標に向かつて学び続けました。結果としてビッグデータを扱う専門職、プログラミング能力を実践で展開するプログラマー、システムエンジニアという情報職公務員、警察などのセミナーを開催して具体的な職務内容や試験について知ることができます。民間企業に関しては業界セミナーとして業界を

令和2年度就職状況について

教育・学生支援機構 特命教授
入江 直樹

就職状況

他大学大学院に進路を決めました。学部で学んだことを更に深めていくことを期待しております。

コロナ禍の影響を受けている業界、旅行、飲食、観光業界などでは採用抑制のために募集人員は極端に減つております。ただこれらの業界を希望する学生は少なく、学生が被つた影響は小さいと思われます。進路先業界としては製造業、金融業、通信業、保険業、商社販売業でこれまでと変わりない状況です。この数年の傾向は①情報通信業の求人が増加している②各業界で一般職の求人が激減している、ということです。この情報関連企業はこれからキーワードである「DX」「AI」「IOT」を進めるためには必要不可欠な業界です。今後を見据えて学内合同企業説明会や業界セミナーで参加していただき、多くの学生に業界、企業を知る機会を提供しました。その結果、多くの学生がこの業界に進路を取りました。今後も世の中の動向、外部環境を考慮に入れて学生が未来を感じることができる業界、企業を学生に伝えていく所存でございます。

会社名	計	男	女
138 京セラコミュニケーションシステム㈱	1	1	
139 日本テラデータ㈱	1	1	
140 ㈱テクノア	1	1	
141 サービス&セキュリティ㈱	1	1	
142 NECソリューションイノベータ㈱	1	1	
運輸業、郵便業			
143 内宮運輸機工㈱	1	1	
144 日本通運㈱	1	1	
145 東京エムケイ㈱	1	1	
146 佐川急便㈱	1	1	
147 名古屋鉄道㈱	1	1	
148 WILLER TRAINS㈱	1	1	
149 ㈱澁澤倉庫	1	1	
150 センコー㈱	1	1	
151 山九㈱	1	1	
152 日本交通㈱	1	1	
153 大阪市高速電気軌道㈱	1	1	
154 三菱倉庫㈱	1	1	
155 エムケイ㈱	1	1	
156 西日本旅客鉄道㈱	1	1	
157 東海旅客鉄道㈱	1	1	
158 ㈱丸運	1	1	
卸売業			
159 丸紅㈱	3	2	1
160 三菱商事㈱	1	1	
161 伊藤忠商事㈱	1	1	
162 双日㈱	1	1	
163 谷村実業㈱	1	1	
164 SPK㈱	1	1	
165 錦富工業㈱	1	1	
166 榎塙産業㈱	1	1	
167 ㈱シマブンコーポレーション	1	1	
168 ㈱エース電研	1	1	
169 リコージャパン㈱	1	1	
170 中北葉品㈱	1	1	
171 エコトレーディング㈱	1	1	
172 トヨタモビリティパーク㈱	1	1	
173 コンドーテック㈱	1	1	
174 日商商事㈱	1	1	
175 丸大ミート㈱	1	1	
176 ㈱すみや電器	1	1	
小売業			
177 アマゾンジャパン合同会社	1	1	
178 ゲンキー㈱	1	1	
179 ㈱ファーストスクウェア	1	1	
180 ㈱二トリ	1	1	
181 ㈱ドコモCS東海	1	1	
182 えぶろんフーズ㈱	1	1	
183 イオントリール㈱	2	2	
184 ㈱一真堂書店	1	1	
185 大黒天物産㈱	1	1	
186 ゴダイイ㈱	1	1	
187 ブレストカスタムコレクション	1	1	
188 コーナン商事㈱	1	1	
189 ㈱ドン・キホーテ	1	1	
190 ㈱ネクスト・ワン	1	1	
191 ㈱ツルハ	1	1	
192 ㈱アルペン	1	1	
193 ㈱セブン・イレブン・ジャパン	1	1	
194 ㈱ユニクロ	1	1	
195 アイ・ティー・エックス㈱	1	1	
196 ㈱ジーユー	1	1	
金融(銀行)			
197 ㈱滋賀銀行	12	8	4
198 ㈱大垣共立銀行	7	6	1
199 ㈱北陸銀行	1	1	
200 ㈱百五銀行	1	1	
201 ㈱京都銀行	3	2	1
202 ㈱関西みらい銀行	1	1	
203 ㈱十銀行	6	3	3
204 三井住友信託銀行㈱	3	2	1
205 ㈱みどり銀行	2	1	1
206 ㈱三井住友銀行	1	1	
207 ㈱みずほ銀行	1	1	
208 ㈱みずほフィナンシャルグループ	2	1	1
209 ㈱沖縄銀行	1	1	
金融(協同組織)			
210 京都中央信用金庫	3	1	2
211 大阪信用金庫	1	1	
212 姫路信用金庫	1	1	
213 畑崎信用金庫	1	1	
214 茨城県信用組合	1	1	
215 大阪府信用農業協同組合連合会	1	1	
216 商工組合中央金庫	2	2	
217 岐阜商工信用組合	1	1	
金融(証券)			
218 同三証券㈱	1	1	
219 あかつき証券㈱	2	2	
220 ㈱だいこう証券ビジネス	1	1	
221 SMBC日興証券㈱	1	1	
222 三緑証券㈱	1	1	

会社名	計	男	女
53 ㈱ジェイテクト	2	1	1
54 ㈱澁澤鉄工所	1	1	
55 兵神設備㈱	1	1	
56 ㈱松風	1	1	
57 ㈱関西イシダ㈱	1	1	
58 ㈲立造船㈱	1	1	
59 ㈱堺場エスティック	1	1	
60 三菱重工業㈱	1	1	
61 ㈱トブキ技研工業㈱	1	1	
62 ㈱島津製作所	1	1	
製造(電子部品等)			
63 京セラ㈱	2	2	
64 ミネベアミツミ㈱	1	1	
65 ニチコン㈱	1	1	
製造(電気・情報通信)			
66 エレコム㈱	1	1	
67 日本アイ・ピー・エム㈱	1	1	
68 日本無線㈱	1	1	
69 ㈱日立製作所	2	2	
70 ㈱バッファロー	1	1	
71 富士通㈱	2	1	1
72 ㈱キンエヌ	2	2	
73 フォスター電機㈱	1	1	
74 パナソニック㈱	1	1	
75 ｼｬｰﾌﾟ㈱	1	1	
76 関西電子工業㈱	1	1	
製造(輸送用機械)			
77 ヤマハ発動機㈱	1	1	
78 川崎重工業㈱	1	1	
79 豊田工㈱	1	1	
80 三恵工業㈱	1	1	
81 ㈱デンソーウィズテック	1	1	
82 日立Astemo㈱	1	1	
83 スズキ㈱	1	1	
84 豊田合成㈱	1	1	
85 近畿車輛㈱	1	1	
86 ダイハツ工業㈱	1	1	
製造(その他製造)			
87 ㈱デグナー	1	1	
88 日本電気硝子㈱	1	1	
89 大建工業㈱	1	1	
90 AGC㈱	1	1	
91 ㈱イチゲチ	2	1	1
92 ヤマトプロテック㈱	1	1	
光热水業			
93 関西電力㈱	1	1	
94 ㈱エナリス	1	1	
95 中国電力㈱	1	1	
情報通信業			
96 日本放送協会	1	1	
97 楽天㈱	1	1	
98 ㈱NSD	2	2	
99 ㈱システムコーディネイト	1	1	
100 ㈱アシスト	1	1	
101 ㈱NEXCOシステムズ	1	1	
102 ㈱メイケイ	1	1	
103 富士ソフト㈱	1	1	
104 三井住友トラストAソリューション㈱	1	1	
105 ㈱日立ソリューションズ	1	1	
106 斯ミセイ情報システム㈱	5	1	4
107 NRIネットコム㈱	1	1	
108 ㈱ナビコムコンピュータ	1	1	
109 ㈱オービーシステム	1	1	
110 ㈱ニッセイコム	1	1	
111 ㈱WAVE	1	1	
112 ㈱日立医療情報ソリューションズ	1	1	
113 西日本電信電話㈱	1	1	
114 ㈱シティ・コム	1	1	
115 ㈱日立システムズ	1	1	
116 ㈱システム	1	1	
117 ㈱関電システムズ	1	1	
118 フラットシステムソリューションズ㈱	1	1	
119 ニッセイ情報テクノロジー㈱	1	1	
120 日本コンピュータシステム㈱	1	1	
121 スターディアラボ㈱	1	1	
122 ㈱ゼン情報システムズ	1	1	
123 ㈱フロムスクラッチ	1	1	
124 共立コンピューターサービス㈱	2	2	
125 ㈱電算システム	1	1	
126 ㈱NTTデータ関西	1	1	
127 ㈱大塚商会	2	1	1
128 ㈱Minor iソリューションズ	1	1	
129 コンピューターマネージメント㈱	1	1	
130 ㈱ソフィア	1	1	
131 富士通クラウドテクノロジーズ㈱	1	1	
132 住友電工情報システム㈱	1	1	
133 ㈱クリエイトラボ	1	1	
134 ㈱ソフトウェアシステム	1	1	
135 キヤノンITソリューションズ㈱	2	1	1
136 ㈱フューチャーイン	1	1	
137 東邦ガス情報システム㈱	1	1	

令和2年度就職状況

【経済学部】

○進路別内訳

	計	男子	女子
卒業者	525	340	185
進学者			
大学院	7	6	1
大学部等	0	0	0
専修学校等	5	4	1
就職者			
企業就職	410	265	145
公務員	57	35	22
その他	13	5	8

進学先・就職先一覧

【経済学部】

○進路先内訳

進路先	計	男	女
進学			
1 北海道大学大学院 文学院	1	1	
2 滋賀大学 大学院 経済学研究科	1	1	
3 名古屋大学大学院 環境学研究科	1	1	
4 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	1	1	
5 大阪大学大学院 國際公共政策研究科	2	2	
6 神戸大学大学院 経済学研究科	1	1	

○就職先内訳(産業別・業種別)

会社名	計	男	女
農業、林業			
1 タキイ種苗㈱	1	1	
建設業			
2 鹿島建設㈱	1	1	
3 ㈱きんでん	1	1	
4 ダイダン㈱	1	1	
5 日本道路㈱	1	1	
6 清水建設㈱	1	1	
7 トヨタホーム㈱	1	1	
8 ㈱ミライト	1	1	
9 古名屋高速道路公社	3	3	
10 共同エンジニアリング㈱	1	1	
11 ミサワホーム中国㈱	1	1	
12 旭化成ホームズ㈱	1	1	
13 トヨタホーム愛知㈱	1	1	
14 大成建設㈱	1	1	
15 五洋建設㈱	1	1	
16 ㈱誠謹進堂	1	1	
製造(食料・飲料等)			
17 山崎製パン㈱	1	1	
18 UCC上島珈琲㈱	1	1	
19 ㈱日清製粉グループ本社	1	1	
20 三麦食品㈱	1	1	
21 養命酒製造㈱	1	1	
22 ㈱伊藤園	1	1	
23 ㈱タカラキベーカリー	1	1	
24 サントリービバレッジサービス㈱	1	1	
25 ㈱Mizkan J plus Holdings	1	1	
製造(繊維工業)			
26 ㈱グンゼ	1	1	
製造(化学・石油等製品)			
27 ㈱ニコ	1	1	
28 花王㈱	1	1	
29 住友ゴム工業㈱	1	1	
30 三麦ガス化学㈱	1	1	
31 アース製薬㈱	1	1	
32 協和キリン㈱	1	1	
33 丸石化学品㈱	1	1	
34 ㈱クラレ	1	1	
35 綜研化学会㈱	1	1	
36 住友理工㈱	1	1	
37 日本パオロロジック有限会社	1	1	
38 豊ファインパック㈱	1	1	
39 田辺三菱製薬㈱	1	1	
40 ㈱山口化成	1	1	
41 大日精化工業㈱	1	1	
製造(鉄鋼・非鉄金属等)			
42 大阪富士工業㈱	1	1	
43 ㈱シブタニ	1	1	
44 住友電気工業㈱	3	2	1
45 松尾バルブ工業㈱	1	1	
46 日立金属㈱	1	1	
47 東京製綱㈱	1	1	
48 紀州ファスナー㈱	1	1	
49 リンナイ㈱	1	1	
50 福栄錠製㈱	1	1	
51 姜電エレベータ施設㈱	1	1	
52 ニプロ㈱	1	1	

○就職先内訳（産業別・業種別）

	会社名	計	男	女
建設業				
1 佐藤工業㈱		2	2	
2 東洋建設㈱		1	1	
製造（食料・飲料等）				
3 江崎グリコ㈱		1	1	
製造（織維工業）				
4 人材㈱		2	2	
製造（化学・石油等製品）				
5 花王㈱		1	1	
6 ㈱アイセロ		2	2	
7 日東電工㈱		1	1	
製造（はん用・業務用）				
8 三菱重工業㈱		1	1	
9 ㈱島津製作所		1	1	
製造（電子部品等）				
10 京セラ㈱		2	2	
製造（電気・情報通信）				
11 富士通㈱		1	1	
12 ソニーセミコンダクタマニュファクチャーリング㈱		1	1	
13 ㈱てつでん		1	1	
14 富士電機㈱		1	1	
15 ㈱KOKUSAI ELECTRIC		1	1	
製造（輸送用機械）				
16 日野自動車㈱		1	1	
その他製造				
17 サンエックス㈱		1	1	
情報通信業				
18 ㈱立ソリューションズ		1	1	
19 スミセイ情報システム㈱		1	1	
20 東邦ガス情報システム㈱		1	1	
21 京セラコミュニケーションシステム㈱		1	1	
22 京セラドキュメントリユーションズ㈱		1	1	
23 スマートインプリメンテッド		1	1	
24 東和ハイシステム㈱		1	1	
25 ㈱中電シティーアイ		1	1	
26 T&D情報システム㈱		2	2	
27 ㈱アクリティック		1	1	
28 ㈱CIS		1	1	
29 DXG Technology Japan㈱		1	1	
30 NECソリューションイノベータ㈱		1	1	
31 ソフトバンク㈱		1	1	1
32 ㈱シーエーシー		1	1	
33 ㈱NTTデータMSE		1	1	
34 ㈱セイノ一情報サービス		2	2	
35 ㈱NTTドコモ		1	1	
36 ㈱アグレックス		1	1	
37 ㈱ディ・アイ・システム		1	1	
38 ㈱アートテクノロジー		1	1	1
39 ㈱システムリサーチ		1	1	
40 三菱電機インフォメーションネットワーク㈱		1	1	1
41 タック㈱		1	1	
42 SCSK㈱		1	1	
43 ㈱読売新聞東京本社		1	1	
44 ㈱ビジネスプレイン太田昭和		1	1	
運輸業・郵便業				
45 西日本旅客鉄道㈱		1	1	
46 飯野海運㈱		1	1	
47 日本航空㈱		1	1	
卸売業				
48 興和㈱		1	1	
小売業				
49 ㈱平和堂		1	1	
50 ㈱ファミリーマート		1	1	
金融				
51 ㈱SMBC信託銀行		1	1	
52 信金中央金庫		1	1	
53 トヨタファイナンス㈱		1	1	
その他専門・技術				
54 合同会社mitei		1	1	
55 ㈱マクロミル		2	1	1
56 ㈱CryptoPie		1	1	
57 ㈱シグマクシス		1	1	
58 ㈱ロイヤリティマーケティング		1	1	
59 フューチャー㈱		1	1	
60 ㈱ダイサン		1	1	
その他教育				
61 ㈱京進		1	1	
62 ㈱データミックス		1	1	
国家公務				
63 防衛省航空幕僚監部		1	1	
起業（再掲）				
合同会社mitei		1	1	1

	会社名	計	男	女
複合サービス				
301 日本郵便㈱		1	1	
302 全国農業協同組合連合会		1	1	
その他サービス				
303 公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		1	1	
304 パーソルキャリア㈱		2	2	
305 ㈱マイナビミドルシニア		1	1	1
306 ㈱ネオキャリア		1	1	
307 ㈱ワールドインテック		2	2	
308 パーソルサンクス㈱		1	1	
309 ㈱カレント		1	1	
310 フジアルテ㈱		1	1	
311 ㈱ババネット		1	1	
312 ㈱LASSIC		1	1	
313 ㈱エムディーコーポレーション		1	1	
314 ㈱じょぶれい		1	1	
315 ㈱逆賀山下		1	1	
316 ㈱バリエ		1	1	
317 ㈱阪神ビジネスソーシエイト		1	1	
318 ㈱フルコビジネスサポート		1	1	
319 ㈱エイジック		1	1	
国家公務				
320 大阪出入国在留管理局		1	1	
321 奈良労働局		1	1	
322 近畿地方整備局		1	1	
323 法務省出入国在留管理局名古屋出入国在留管理局		1	1	
324 経済産業省中部経済産業局		1	1	
325 東京出入国在留管理局		1	1	
326 名古屋国税局		4	3	1
327 石川労働局		1	1	
328 大阪国税局		4	1	3
329 広島国税局		1	1	
330 近畿管区警察局		1	1	
331 海上自衛隊		1	1	
332 名古屋出入国在留管理局		1	1	
333 大阪地方裁判所		1	1	
334 東京国税局		1	1	
335 厚生労働省		1	1	
地方公務				
336 愛知県庁		4	4	
337 一宮市役所		2	1	1
338 岐阜市役所		1	1	
339 滋賀県庁		5	2	3
340 兵庫県庁		1	1	
341 福井県庁		1	1	
342 岐根市役所		2	1	2
343 近江八幡市役所		2	1	1
344 大津市役所		1	1	
345 茨木市役所		1	1	
346 丹波市役所		1	1	
347 京都府庁		2	1	1
348 南国市役所		1	1	
349 福岡県庁		1	1	
350 鳥取市役所		1	1	
351 由辺市役所		1	1	
352 名古屋市役所		1	1	
353 各務原市役所		1	1	
354 石川県警		1	1	
355 長浜市役所		1	1	
356 滋賀県警察		1	1	
357 静岡県庁		1	1	
358 東郷市役場		1	1	

	会社名	計	男	女
223 楽天証券㈱		1	1	
224 みずほ証券㈱		1	1	
225 滋賀県信用保証協会		1	1	
226 トヨタファイナンス㈱		1	1	
227 ㈱日本政策金融公庫		4	4	
228 ㈱日本フィナンシャルサービス		1	1	
229 東京短資㈱		1	1	
230 預金保険機構		1	1	
231 三菱UFJニコス㈱		1	1	
232 ヤンマークレジットサービス㈱		1	1	
233 岐阜県信用保証協会		1	1	
234 名古屋市信用保証協会		1	1	
235 ㈱JCBエクセ		3	3	0
236 ㈱オリエントコーポレーション		1	1	
237 三井住友ファイナンス＆リース㈱		1	1	
保険業				
238 住友生命保険相互会社		1	1	
239 日本生命保険相互会社		2	2	
240 富国生命保険相互会社		2	2	
241 西日本建設保険㈱		1	1	
242 第一生命保険㈱		2	2	
243 三井住友海上火災保険㈱		1	1	
244 大樹生命保険㈱		1	1	
245 ㈱かんぽ生命保険		1	1	
246 損害保険ジャパン㈱		1	1	
247 明治安田生命保険相互会社		3	1	2
248 全国済農業協同組合連合会 愛知県本部		1	1	
249 ㈱日本貿易保険		1	1	
250 三菱電機保険サービス㈱		1	1	
不動産・賃貸業				
251 三菱地所・サイモン㈱		1	1	
252 ㈱不動産SHOPナカジツ		1	1	
253 大東建託㈱		1	1	
254 横河ハウス不動産関西㈱		1	1	
255 ㈱ウイル		1	1	
256 ㈱長谷工エコネット		1	1	
257 ㈱関西不動産販売㈱		1	1	
258 大東建託リーシング㈱		1	1	
259 ㈱オープンハウス		1	1	
260 ㈱長谷工エココミュニティ		1	1	
物品販賣業				
261 三菱UFJリース㈱		1	1	
262 サコス㈱		1	1	
学術・研究開発				
263 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構		1	1	
その他専門・技術				
264 ㈱タカラ・都市科学研究所		1	1	
265 ㈱電通テック		1	1	
266 ㈱システム環境研究所		1	1	
267 ㈱マイナビ		1	1	
268 ㈱ニュージック		1	1	
269 ㈱日本経営		1	1	
270 船舶整備工場		1	1	
271 ㈱帝国データバンク		1	1	
272 太陽有限責任監査法人		1	1	
273 北村労務会計事務所		1	1	
274 税理士法人中央研修		1	1	
275 日本経営ウィル税理士法人		1	1	
276 ㈱船井総合研究所		1	1	
277 ㈱CGO		1	1	
278 JR東日本ビルテック㈱		1	1	
279 フューチャーアーキテクト㈱		1	1	
280 アピームコンサルティング㈱		1	1	
281 税理士法人飛騨会計事務所		1	1	
282 税理士法人山田&パートナーズ		1	1	
283 ㈱グッドニュース		1	1	
宿泊・飲食				
284 ㈱あきんどスシロー		1	1	
生活関連サービス				
285 ㈱日本旅行		1	1	
286 ㈱アコディア・ゴルフ		1	1	
287 ㈱JTB		2	2	
288 ㈱ダスキン		1	1	
289 公益社団法人びわこビィターズビューロー		1	1	
学校教育				
290 国立大学法人京都教育大学		1	1	
その他教育				
291 ㈱さなる		1	1	
医療・保健				
292 独立行政法人国立病院機構（近畿グループ）		1	1	
293 公益社団法人日本医師会総合政策研究機構		1	1	
294 社会福祉法人恩賜財團 済生会滋賀県病院		1	1	
295 長浜赤十字病院		1	1	
296 独立行政法人国立病院機構九州グループ		1	1	
社会保険・福祉				
297 社会福祉法人小羊会		1	1	
298 日本金年金機構		1	1	
299 ㈱ベネッセスタイルケア		1	1	
300 ロングライフホールディング㈱		1	1	

○進路別内訳

令和3年5月1日現在

	計	男子	女子
卒業者	94	66	28
進学者	21	18	3
大学院	0	0	0
大学部等	0	0	0
専修学校等	0	0	0
就職者	69	46	23
企業就職	1	0	1
公務員	0	0	0
その他	0	0	0

○進路別内訳

進路

	計	男	女
進学	1	1	1
滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	20	17	3
京都大学大学院 情報学研究科	1	1	1

【お問い合わせ】
滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部・総務・企画係
 TEL 0749-127-1030

「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、生諸君の日頃の勉学等を支援し、質の向上に資することを目的に、成26年度から開始した制度です。下表に記載しておりますサポート対象基準を満たすことにより、その功績を称え報奨金を給付するもので、これまでに335件に対して給付いたしました。報奨された学生からは「更なるステップアップのための資金」としたい。等との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生が君からの応募を期待しております。学生諸君には、別途、学内にてお知らせしていますが、保護者のお子様にお伝えいただき本存制度をあります。今後も、より良き制度に改善していくことをお待ちしております。

後援会資格取得等報奨制度について

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

1. 趣旨

この制度は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。

2. ガイドライン

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。

なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

分類	サポート対象事項	基 準	報奨額(上限)
資格・認定試験	1. 日商簿記検定試験	「一級」合格者	70,000円
	2. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	30,000円
		2科目同時合格者	50,000円
		②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	40,000円
	3. 公認会計士試験	「短答式試験」合格者	50,000円
		「論文式試験」合格者	100,000円
	4. 証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000円
		「第2次レベル試験」合格者	40,000円
語学試験	5. データベーススペシャリスト試験	合格者	50,000円
	6. 品質管理検定	「一級」合格者	50,000円
留学	7. 統計検定「一級」	「統計数理」、「統計応用」のいずれか1科目合格者	50,000円
		2科目合格者	20,000円
その他	8. TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験又は帰国子女入試枠での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000円
		900点以上	50,000円
その他	9. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000円
		その他	80,000円
その他	10. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1~8に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

- 注) ①「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
 ②「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
 ③編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学した者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。
 ④「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
 ⑤「その他」の資格申請(第2次試験合格をもって資格取得となる中小企業診断士等)の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
 ⑥対象者は、経済学部・データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者とする。ただし、入学年度の9月末日(秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日)時点で後援会費を未納の場合は対象としない。
 ⑦報奨額については、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。
 ⑧本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

本後援会の通常総会は、後援会規約第14条第1項において、毎年入学式当日に開催することになりますが、昨今の社会情勢に鑑み、昨年度に引き続き、今年度も中止せざるを得ませんでした。この場をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

また、本紙13、14ページ記載の「令和2年度決算、令和3年度予算案及び令和3年度役員」につきましては、同規約第13条第1項において総会でご審議頂くべきところですが、同規約第14条第3項において「通常総会が開催できないときは、役員会の開催をもって代えることができる」とことから、5月31日付で役員会承認とさせていただいた旨、ご報告申し上げます。

新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でありますので、皆様、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。
なお、内容に関するご意見・ご質問等につきましては、以下にお問い合わせください。

【お問い合わせ】滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係 TEL 0749-27-1030

令和2年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支報告

収 入

科 目	決算額	備 考
前年度繰越額	6,090,989	
会費（学部新入生）	12,719,000	553人× @23,000
会費（編入生）	230,000	20人× @11,500
会費（大学院新入生・前期）	402,500	35人× @11,500
会費（大学院新入生・後期）	34,500	2人× @17,250
利息	122	
収入合計	19,477,111	

支 出

科 目	予算額	決算額	過不足額	備 考
①厚生体育費補助	2,960,000	890,537	2,069,463	課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	626,580	693,420	滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	7,500	62,500	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	961,514	2,538,486	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	900,000	0	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	34,090	205,910	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	410,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	260,000	142,030	117,970	役員会経費、その他経費補助
⑨広報費	600,000	511,130	88,870	後援会だより印刷費、送料
⑩涉外費	350,000	143,650	206,350	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	28,920	1,080	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	0	100,000	
⑬資格取得等報奨金	2,200,000	2,200,000	0	
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑮情報教育充実費	1,000,000	830,116	169,884	
⑯予備費	5,437,111	487,822	4,949,289	
支出合計	19,477,111	8,273,889	11,203,222	

令和2年度 図書充実費予算

収 入

科 目	決算額	備 考
前年度繰越額	304,922	
会費（学部新入生）	553,000	553人× @1,000
会費（編入生）	10,000	20人× @ 500
会費（大学院新入生・前期）	17,500	35人× @ 500
会費（大学院新入生・後期）	1,500	2人× @ 750
利息（8月分）	3	
利息（2月分）	1	
収入合計	886,926	

支 出

科 目	決算額	備 考
図書購入費等	676,394	
次年度繰越金	210,532	
支出合計	886,926	

令和2年度 体育充実費予算

収 入

科 目	決算額	備 考
前年度繰越額	388,739	
会費（学部新入生）	553,000	553人× @ 1,000
会費（編入生）	10,000	20人× @ 500
会費（大学院新入生・前期）	17,500	35人× @ 500
会費（大学院新入生・後期）	1,500	2人× @ 750
利息（8月分）	3	
利息（2月分）	3	
収入合計	970,745	

支 出

科 目	決算額	備 考
近国体分担金等	258,000	
次年度繰越金	712,745	
支出合計	970,745	

令和2年度 資格取得等報奨金予算

収 入

科 目	決算額	備 考
前年度繰越額	2,094,331	
資格取得等報奨金 会費	2,200,000	
利息（8月分）	13	
利息（2月分）	11	
収入合計	4,294,355	

支 出

科 目	決算額	備 考
支出額	2,183,110	
次年度繰越金	2,111,245	
支出合計	4,294,355	

令和3年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	11,203,222	
会費（学部新入生）	12,604,000	548人 × @ 23,000
会費（編入生）	230,000	20人 × @ 11,500
会費（大学院新入生・前期）	575,000	50人 × @ 11,500
会費（大学院5年一貫・前期）	5,750	1人 × @ 5,750
会費（大学院新入生・後期）	51,750	3人 × @ 17,250
利息（見込）	120	
収入合計	24,669,842	

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	200,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	600,000	後援会だより印刷費、送料
⑩涉外費	350,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	滋賀大学基金へ寄附
⑬資格取得等報奨金	2,200,000	
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	
⑮情報教育充実費	1,000,000	
⑯予備費	10,689,842	
支出合計	24,669,842	

令和3年度 図書充実費予算

収入

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	210,532	
会費（学部新入生）	548,000	548人 × @ 1,000
会費（編入生）	10,000	20人 × @ 500
会費（大学院新入生・前期）	25,000	50人 × @ 500
会費（大学院5年一貫・前期）	250	1人 × @ 250
会費（大学院新入生・後期）	2,250	3人 × @ 750
利息（見込）	4	
収入合計	796,036	

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
図書購入費等	600,000	
予備費	196,036	
支出合計	796,036	

令和3年度 体育充実費予算

収入

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	712,745	
会費（学部新入生）	548,000	548人 × @ 1,000
会費（編入生）	10,000	20人 × @ 500
会費（大学院新入生・前期）	25,000	50人 × @ 500
会費（大学院5年一貫・前期）	250	1人 × @ 250
会費（大学院新入生・後期）	2,250	3人 × @ 750
利息（見込）	6	
収入合計	1,298,251	

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
近国体分担金	330,000	
ゴルフ実習費	100,000	
スキー教室経費	200,000	
予備費	668,251	
支出合計	1,298,251	

令和3年度 資格取得等報奨金予算

収入

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	2,111,245	
資格取得等報奨金 会費	2,200,000	
利息（見込）	24	
収入合計	4,311,269	

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
資格取得等報奨金	2,200,000	
次年度繰越予定額 (資格取得等報奨金分)	2,111,269	
支出合計	4,311,269	

令和3年度 後援会役員名簿

会長	戸田 茂	幹事	田中 伸英	委員	山川 友美
副会長	伊藤 正之	幹事	土井 忠史	委員	村松 由美
副会長	尾上志津夫	委員	毛利 哲也	委員	高松真喜子
幹事	寺橋 豊重	委員	近井はるみ	監事	松橋 勇次
幹事	堀部 千夏	委員	森野 陽子	監事	西田 隆弘
幹事	和田 恵美	委員	村木 雅直		

編集後記

後援会だよりは次のURLでもご覧頂けます。
<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対する要望、ご意見等をお聞かせください。

(送付先)

滋賀大学
経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係
E-mail ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp
FAX 0749-27-1132

令和3年度 学年暦・主要な行事（予定）

《春学期》		日(曜日)	授業関係	就職関係	(注) 変更される場合があります。
月	日(曜日)				その他
3	22(月) 26(金)		成績発表(サクセス(Web)で確認)		第1回滋賀大学グローバルセミナー
4	2(金) 5(月) 6(火) 7(水) 23(金) 26(月)		入学式(びわ湖ホール) 新入生オリエンテーション 春学期授業開始		留学生オリエンテーション 新入生オリエンテーション、令和2年度入学生の集い
5	10(月) ~ 14(金) 中旬 13(木) 21(金) 3(月)			公務員志望者向け就職ガイダンス 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【データサイエンス学部】 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【経済学部】	第2回滋賀大学グローバルセミナー 第3回滋賀大学グローバルセミナー 海外留学説明会(留学WEBC) 第4回滋賀大学グローバルセミナー
6	中旬 下旬 26(土)		成績優秀者表彰式 授業日(月曜日の授業)	第1回就職ガイダンス(3回生) 第2回就職ガイダンス(3回生)	開学記念日 第5回滋賀大学グローバルセミナー
7	上旬 3(土) 4(日) 中旬 10(土) 22(木) 24(土)		授業日(火曜日の授業) 補講日 春学期授業終了 春学期試験(予備日を含む)	自己分析セミナー 留学生対象就職活動ガイダンス フレッシュマン・キャンプ 第6回滋賀大学グローバルセミナー	
8	中旬 7(土) ~ 9/30(木)		夏季休業、集中講義 新入生履修説明会・相談会		外国人留学生対象進学説明会 第7回滋賀大学グローバルセミナー 国際フォーラム SFA(学生・教員協議会)
9	中旬 下旬		成績発表(サクセス(Web)で確認)		

その他の情報は
大学のホームページから

滋賀大学のトップページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

→ メニューバー
→ 在学生・保護者の方

◇通知を見る(休講・補講等)
◇学習について調べる(学年暦等)
◇大学の支援を調べる(奨学金・授業料免除等)
◇就職・資格について調べる(取得できる資格等)
◇大学生活を調べる(住居・課外活動・アーリーハイト等)
◇滋賀県と滋賀大学を知る(広報誌しがだし等)

(注) 変更される場合があります。

その他

《秋学期》		日(曜日)	授業関係	就職関係
10	1(金) 上旬 中旬 下旬 23(土) 29(金) 30(土)	~ ~ ~ 31(日)	秋学期授業開始 経済学研究科博士後期課程D3中間研究報告会 授業日(月曜日の授業) 経済学研究科博士後期課程D2研究報告会 彦根地区キャンパス休講	SPI対策講座 第3回就職ガイダンス(3回生) 大学祭
11	上旬 中旬 下旬 27(土)	~ ~ ~ 28(日)	3回生就職希望者の個別進路面談(3回生)	模擬本杯争奪駅伝大会
12	上旬 中旬 下旬 26(日)	~ ~ ~ 1/3(月)	陵水会計人会による学生説明会・懇談会(3回生) 第4回就職ガイダンス(3回生) 第5回就職ガイダンス(3回生) 留学生対象就職ガイダンス 第6回就職ガイダンス(3回生) 第42回陵水懇話会(3回生)	留学説明会(留学WEEK) 第9回滋賀大学グローバルセミナー リーダーストレーニング
1	4(火) 上旬 8(土)	授業再開 補講日 14(金) ~ 16(日) 休講及び入構禁止(大学入学共通テスト準備及びテスト) 補講日 22(土) 26(水) 27(木) ~ 2/9(水)	若手卒業生による就活相談会 第8回就職ガイダンス(3回生)	2022年春受入れ交換留学申請者面接
2	中旬 下旬 24(木)	~ ~ 26(土)	女子学生のための陵水キャリアガイダンス(3回生)	第10回滋賀大学グローバルセミナー SFA(学生・教員協議会)
3	上旬 中旬 11(金)	~ ~ 12(土) 25(金)	彦根キャンパス学内就職セミナー【学内合同企業説明会】(3回生) 入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験) 卒業式(びわ湖ホール)	第11回滋賀大学グローバルセミナー 卒業祝賀会

これらにすることは、
こちらへお問い合わせ
ください



○授業・休学・退学に関するご質問	○学生生活・クラブ活動等に関するご質問	○就職・進学に関するご質問	○留学に関するご質問
○学務課教務係 0749-27-1031(ダイヤルイン)	○学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)	○学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン)	○国際交流課 0749-27-1430(ダイヤルイン)
○授業料免除・奨学金に関するご質問 学務課教務係(大学院担当) 0749-27-1032(ダイヤルイン)	○学生支援課学生支援係 就職支援室 0749-27-1033(ダイヤルイン)	障がい学生支援室 0749-27-8166(ダイヤルイン)	